

新しい資本主義のマクロ経済運営の在り方

2023年5月15日
マルティン シュルツ

新しい資本主義のマクロ経済運営の在り方

- **新しい資本主義 – 構造的課題から社会的課題の解決能力構築まで**
成熟した経済では、家計が痛みを伴う構造改革を拒否するようになり、社会サービスへの依存度が高まったため、資本主義はある程度の限界に達しました。伝統的なマクロ政策が社会的要請のギャップをうめることに失敗し、新しい供給側の社会的課題解決能力の構築のための政策が必要になっているようです。ただし、市場メカニズムによる従来の政策とは異なり、これらの政策には、共通したパーパス、課題の政策目標、および社会的な富の創出に対する測定可能な成果が必要です。
- **新しい資本主義 – 持続可能な所得成長という共通したパーパス**
新しい資本主義のパーパスは、家計の持続可能な所得創出能力をサポートし、成長と分配の好循環をもたらすことです。既存の市場的政策は引き続き有効ですが、新しい政策は、グリーン (GX)、デジタル (DX)、学習 (LX)、持続可能な変革 (SX) の目標を達成するために、従来の産業政策から社会政策まで、政策横断的に取り組む必要があります。
- **新しい資本主義 – 社会変革のためのミッション志向の政策**
効果的で持続可能な所得成長政策は、持続可能な政策目標を官民のパートナーシップの共有ミッションにしていく必要があります。GX は、製品の設計から使用までのサプライチェーン全体を改善して、ゼロカーボン エミッション効率を達成します。DX は、地域や中小企業全体に革新的なテクノロジーを普及させます。LX は、会社の職場を超えて労働者の成人学習と専門化をサポートします。SX は、女性のキャリア機会を増やして、社会的公平性を高めます。

新しい資本主義のマクロ経済運営の在り方

新しい資本主義

パーパスとミッション志向の政策

